

ご参加の前に
ぜひご一読ください!



生活困窮者自立支援全国ネットワークでは、随時、会員を募集しています。私たちと一緒に誰もが暮らしやすい社会づくりをしていきませんか?詳しくはホームページ (<https://life-poor-support-japan.net>) をご覧ください。

第9回

生活困窮者自立支援全国研究交流大会

多重不安の時代にあって生活困窮者自立支援制度と伴走型支援を問う

2022年11月20日【日】 AM 分科会3
PM 分科会4

オンライン開催

大会ニュース3号

発行:2022年11月9日

見どころ・聞きどころ

分科会3 人材育成 10:00 ~ 12:00

「相談支援の質をどう高めるか ～従事者の人材育成、マネジメント」

実践事例報告

- | | |
|----------------------------|-------|
| ①松江市社会福祉協議会生活支援課 課長 | 池田 圭介 |
| ②神栖市社会福祉協議会 事務局長 | 橋田 勝 |
| ③千葉県生活困窮者自立支援実務者ネットワーク事務局長 | 及川 哲 |

助言者

- | | |
|------------------|-------|
| ④豊中市社会福祉協議会 事務局長 | 勝部 麗子 |
|------------------|-------|

コーディネーター

- | | |
|--------------------------------|------|
| ⑤Optim's-pt (オプティムズ・プロジェクト) 代表 | 上原 久 |
|--------------------------------|------|

分科会3のテーマは、生活困窮者自立支援制度を担う「人材」です。コロナ禍においては、相談件数が急増し、住居確保給付金の事務手続きに追われるなどして、支援員の育成に課題を感じている現場も少なくないと思われます。

分科会3では、職場内、あるいは地域の多機関と一緒に事例検討や学習会を実施したり、県域で支援員同士のネットワークづくりに取り組んでおられる実践者にご報告いただきます。

生活困窮者自立支援制度の国研修講師であり、「見立てを深めるための事例検討会」を主催されている上原久さんのコーディネートのもと、豊中市社協の勝部麗子さんをコメントーターに迎え、相談支援の質をどのようにとらえるのか、また、それを担う人材の資質や育成のあり方、職場のマネジメント等について考えます。

(企画担当者:高橋良太(全国社会福祉協議会地域福祉部部长))

見どころ・聞きどころ

分科会4 就労促進 14:00 ~ 16:00

「自治体が進めるユニバーサル就労に学ぶ」

働きづらさを抱える方々の就労を支援するうえで、自治体の役割はとても重要です。

今回発言いただく3人の自治体の紹介をします。大阪府は、民間事業者と公契約を結ぶ際、「障害者等」(障害者だけじゃない!)の雇用率が勘案される総合評価制度を取り入れています。雇用率が低い企業は参入できません。静岡県富士市は、日本で初めてユニバーサル就労推進条例を制定し、常勤者7名による就労支援をおこなっています。千葉県は、日本財団と連携して、障がい者の就労移行支援、就労継続支援事業所で障がい者以外の働きづらさを抱える方を受け入れるモデル事業を始めました。

こうした先進的な取り組みに学び、多くの自治体でこうした取り組みが進むようになることをめざします。

(企画担当者:池田徹)

パネラー

- | | |
|----------------------------|-------|
| ①一般社団法人エル・チャレンジ 代表理事 | 富田 一幸 |
| ②富士市福祉部生活支援課 統括主幹 | 荒谷 隆治 |
| ③NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちば事務局長 | 鈴木 由美 |

コーディネーター

- | | |
|--|------|
| ④NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちば 理事長
(社会福祉法人生活クラブ風の村特別常任顧問) | 池田 徹 |
|--|------|

